

令和7年度 埼玉県立がんセンター院内教育計画

- 1 看護部の理念 私たちは患者さんの権利を尊重し、質の高い看護を提供します
- 2 看護部が目指す看護師像

1) 専門的知識・技術を用いて的確な状況判断のもとに看護が実践できる。

2) 自律的に自己の看護実践能力の向上に努めることができる。

3) 医療チームの一員としての役割を認識し、看護師として主体的に行動できる。
- 3 目 的：

1) がん看護に必要な看護実践能力に優れた看護師を育成する。

2) 専門職業人として自律した看護師を育成する。
- 4 目 標：

1) 組織の一員としての役割を認識し、行動できる。

2) 患者の人間性を尊重した専門性の高い看護が実践できる。

3) 臨床実践能力習熟度に応じた看護管理ができる。

4) 看護の質の向上をめざして看護研究に取り組むことができる。

5) 専門職業人としてキャリアアップの必要性を自覚し、主体的に学習できる。
- | ラダー
レベル | 研 修 名 | 日時・方法 | 対象者 | 講 師 | 目 標
(および演習項目) |
|------------------|-------------------------|--|---------------------------------------|--|---|
| ラ
ダ
ー
I | 新採用者
オリエンテーション | 4月
講義 演習
*詳細はオリエン
テーション日程表 参照 | 新人看護師
キャリアナース
異動者は、
必要項目のみ受講 | 看護部長
看護副部長
看護師長
教育委員
セーフティマネージャー
専門・認定看護師 | 1 がんセンターおよび看護部の理念、基本方針を理解できる。
2 がんの基本的な治療が理解できる。
3 患者・家族への接遇を理解し、実践できる。
4 社会人としての心構えを理解し、行動できる。 |
| | 技術トレーニング
フォローアップ研修 | 4月～5月
講義・演習
*詳細は研修計
画表 参照 | 新人看護師 | 教育委員
新人教育担当看護師 | 1 看護実践に必要な基礎的知識を学び、技術を習得できる。
演習内容
1) 輸液管理 2) 採血・注射 3) 内服管理 4) 麻薬・向精神薬 5) 清潔援助
6) 安全安楽 7) 患者移送 8) 体位変換・ポジショニング 9) 環境整備
10) 電子カルテ操作 |
| | 技術トレーニング | 6月
7月
講義 演習 | 新人看護師 | 教育委員
新人教育担当看護師 | 1 看護実践における基本的な知識と技術を習得できる。
演習内容 1) ME機器 2) 酸素 3) 吸引 4) 膀胱留置カテーテル |
| | がん看護基礎研修
(導入編) 1 | 5月
講義 | 新人看護師
キャリアナース
異動者は、
必要に応じ受講 | 認定看護師
手術看護 | 1 がん看護における基本的知識が習得できる
1)がん看護における周手術期看護の基本的知識を身につける |
| | がん看護基礎研修
(導入編) 2 | | | 認定看護師
がん化学療法看護 | 1 がん看護における基本的知識が習得できる
1)がん化学療法の基本的知識を身につける。
2)抗がん剤の安全な取り扱いを理解できる。
3)抗がん剤の輸液管理が理解できる。
4)血管外漏出とその対応が理解できる。
5)抗がん剤投与に伴う過敏症について理解し対応できる。 |
| | がん看護基礎研修
(導入編) 3 | | | 放射線専従看護師等 | 1 がん看護における基本的知識が習得できる
1)放射線療法の特徴が理解できる。
2)放射線療法を受ける患者の看護がわかる。 |
| | がん看護基礎研修
(導入編) 4 | | | 認定看護師
緩和ケア | 1 がん看護における基本的知識が習得できる
1)がんの痛みの特徴について理解できる。
2)がん疼痛治療の基本が理解できる。
3)がんの緩和ケアの目的・目指すものを理解できる。
4)終末期がん患者の特徴とケアが理解できる。
5)逝去時のケアが理解できる。 |
| | がん患者との
コミュニケーション | 4月
講義 | 新人看護師 | 専門・認定看護師 | 1 コミュニケーションの基本的知識やスキルを理解できる
2 がん患者とのコミュニケーション方法を理解できる |
| | 看護倫理 | 4月
講義 | 新人看護師
キャリアナース | 専門・認定看護師 | 1 看護者の倫理を理解できる
2 がんセンターにおける倫理的問題を知る |
| | 感染管理 | 4月
講義・演習 | 新人看護師
キャリアナース | 感染管理認定看護師 | 1 標準予防策を理解し、必要な技術を習得することができる |
| | 看護過程 1 | 4月
講義・演習 | 新人看護師
キャリアナース
異動者は、
必要に応じ受講 | 看護部看護診断・記録委員
会 | 1 看護記録の基礎知識が理解できる
1) ゴードンの機能的健康的パターンについて理解できる。
2) 情報収集・アセスメント・問題点の明確化までの流れが理解できる。
3) 看護記録の目的と意義、法的位置づけについて理解できる。
4) 看護記録記入に際しての留意点が理解できる。
5) 看護実践に必要な記録がわかる。
6) SOAPを用いた記録方法が理解できる。 |
| | 看護過程 2 | 6月
講義・演習 | 新人看護師
キャリアナース
異動者は、
必要に応じ受講 | 看護部看護診断・記録委員
会 | 1 看護診断についての基礎知識が習得できる
1) 看護診断の概念が理解できる。
2) 看護診断のプロセスが理解できる。
3) 情報収集とカテゴリー分類、アセスメントの視点が理解できる。
4) 看護診断の意義・活用について理解できる。 |
| | 医療安全 1 | 4月
講義・演習 | 新人看護師
キャリアナース | セーフティマネージャー
看護部医療安全推進委員会 | 1 リスクマネジメントを理解し、医療事故防止への意識を高めることができる |
| | 医療安全 2 | 9月
1月
講義 演習 | 新人看護師
キャリアナース | セーフティマネージャー
看護部医療安全推進委員会 | 1 医療安全の基礎知識が理解できる。
2 K Y Tの基本的な考え方とその意義を学ぶ。 |
| | リーダーシップ | 9月
講義・演習 | 新人看護師 | 教育委員 | 1 看護組織を理解しメンバーシップがとれる。
2 職場におけるより良い人間関係作りができる。 |
| | 救急看護 | 9月～10月
講義 演習
12月～1月
手術室見学 | 新人看護師 | 教育委員
救急リンクナース
臨床工学士 | 1 一次救命処置およびAEDの使用を学ぶ。
2 気管内挿管の目的・手順・介助方法が理解できる。(他部署研修)
3 心電図(12誘導を含む)装着時の看護が理解できる。 |
| | フィジカルアセスメント | 6月
講義・演習 | 新人看護師 | 院外研修
埼玉看護協会 | 1 フィジカルアセスメントを理解する。
2 症状・徴候からフィジカルアセスメントができる
3 身体機能別のフィジカルアセスメントできる |
| | 多重課題 | 11月
講義・演習 | 新人看護師 | 教育委員
新人教育担当看護師 | 1 看護実践に必要な基礎知識を学び、技術を習得できる
1) 看護場面における優先順位を理解し、多重課題に対応できる |
| | 他部署研修 | 11月～1月 | 新人看護師 | 手術室 各病棟 | 1 他部署の看護の実際を学ぶ。
2 未経験の看護技術を学ぶ。 |
| | フォローアップ研修
1. 2. 3. 4 | 6月
9月
11月
2月 | 新人看護師 | 教育委員
新人教育担当看護師 | 1 定期的(必要時)に振り返り、各自の現在の状況と問題点を把握する。
2 仲間と話し合うことで共通の悩みを理解し問題解決方法を見つけることができる。
3 課題の評価ができ、2年目に向けて目標を見出すことができる。 |

ラダー レベル	研 修 名	日時・方法	対象者	講 師	目 標
ラ ダ ー Ⅱ	静脈注射基礎研修	5月 講義・演習 7月 知識テスト 9月～実技試験	原則ラダーⅠ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	教育委員 主任看護師	1 看護師の静脈注射に関する法的位置づけおよび責務について理解できる。 2 静脈注射の基礎的知識が理解できる。 3 静脈注射が実施できる。
	皮膚ケア	5月 講義・演習		皮膚排泄ケア認定看護師	1 がん看護における基本的技術を習得できる。 1) がん患者のスキントラブルの予防と対応ができる 2) がん患者の褥瘡予防対策と褥瘡の評価
	感染管理	5月 講義・演習		感染管理認定看護師	1 標準予防策を理解し、必要な技術を習得することができる 2 感染経路予防策の考え方を位を理解し、必要な技術を習得することができる 3 日々の看護場面に照らし合わせて感染対策について考え、実践することができる
	看護過程	7月 講義・演習		看護部看護診断・記録委員	1 患者状態に合った妥当な看護診断を行い、看護過程を展開することができる。 1) 事例からアセスメントを行い、妥当な看護診断が導き出せる 2) アセスメントの結果から看護計画を立案ができる
	看護倫理	9月 講義・演習		専門・認定看護師	1 医療における倫理原則、臨床倫理、看護倫理について理解できる 2 がん看護に特有の倫理的問題を理解できる 3 患者・家族の立場に立った倫理的配慮について考えることができる
	救急看護 ACLS認定者免除	10月 講義・演習		集中ケア認定看護師 救急リンクナース 教育委員	1 不整脈と蘇生について学ぶ 2 急変時におけるフィジカルアセスメントを学ぶ 3 一時評価と判定について理解できる 4 チームリーダーとしての役割、チームメンバーとしての役割を理解できる。
	医療安全	12月 講義・演習		セイフティマネージャー 看護部医療安全推進委員	1 医療安全の視点から自己の行動を分析し、問題点を明確にできる 2 医療安全に役立つ情報収集と分析方法を学ぶ
ラ ダ ー Ⅲ	看護観	5月 講義・演習 11月提出	原則ラダーⅡ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	教育委員	1 GWで自己の看護実践を語ることができる 2 看護実践を通して、自己の看護観が表現できる 3 看護観をまとめ、専門職としての自律性を高めることができる
	医療安全	6月 講義・演習 12月 課題提出		セイフティマネージャー 看護部医療安全推進委員	1 医療安全の視点から、部署の現状を分析・評価できる 2 VA-RCA法を学び、自部署の課題対策に役立てることができる
	感染管理	6月 講義・演習		感染管理認定看護師	1 具体的感染防止技術について学び実践できる 1) 感染経路別予防策の考え方を理解できる 2) 院内で問題となる感染症および、医療器具関連感染症について臨床現場に結び付けて理解することができる。
	リーダーシップ	9月 講義・演習		教育委員	1 チームメンバーが相互に良い影響を出し合えるような関わりができるリーダーシップについて学ぶ。 2 リーダーとして状況判断した行動ができる。
	がん患者とのコミュニケーション技法	11月 講義・演習		専門・認定看護師	1 がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1) がん看護におけるコミュニケーションの重要性について理解できる。 2) がん患者とのコミュニケーションと看護師に求められる役割を理解できる 3) 自らのコミュニケーションスタイルに気づき、より良いコミュニケーションの実践に繋がられる。
	継続看護	11月 講義・演習		患者サポートセンター 看護師	1 退院調整看護師の役割と退院支援システムを理解し、実践に活かせる。 2 地域連携の取り組みについて学ぶ。
ラ ダ ー Ⅳ	がん看護実践	6月 講義・演習 12月 事後課題	原則ラダーⅢ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	専門・認定看護師	1 がん看護実践でリーダーシップがとれる 1) がん看護実践で重要な理論が理解できる。 2) 実践した看護と理論を結びつけ、がん看護観を深めることができる。
	感染管理	6月 講義・演習 12月 課題提出		感染管理認定看護師	1 感染防止の視点で部署の現用を分析・評価し、改善に取り組み、評価できる
	看護倫理	7月 講義・演習		専門・認定看護師	1 看護に関連する倫理上の諸問題を明らかにできる。 2 倫理的意志決定のための基本知識を習得する。 3 倫理的意志決定を実践に活かすことができる。
	看護管理	県立病院機構 主催		外部講師	県立病院機構の目標に沿う
	コンフリクトマネジメント (概要編)	県立病院機構 主催		外部講師	県立病院機構の目標に沿う
	臨床倫理	県立病院機構 主催		外部講師	県立病院機構の目標に沿う
ラ ダ ー Ⅴ	看護管理 1 がん看護の質の保証	5月 講義	原則ラダーⅣ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	看護部長	1 がん看護の専門性を高め、看護管理補佐としての役割を遂行できる。 1) がんセンターにおける看護管理者としての役割を理解する
	看護管理 2	6月 講義 12月事後課題提出		看護副部長	1 問題解決に向け変革者となり、職場改善に取り組むことができる。 1) 問題解決技法について理解する。 2) 自部署の分析を行い、管理課題に取り組む。
	コンフリクトマネジメント (事例対応編)	県立病院機構 主催		外部講師	県立病院機構の目標に沿う

ラダー レベル	研 修 名	日時・方法	対象者	講 師	目 標 (および演習項目)
専門研修	がん看護研修（中級編） 1 皮膚・排泄ケア	6月 講義・演習	原則ラダーⅠ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	皮膚・排泄ケア認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）がん患者特有のスキンケアを理解し、実践に活かすことができる 2）創傷治癒過程を理解し、局所ケアの選択ができる
	がん看護研修（中級編） 2 がん化学療法看護	7月 講義・演習		がん化学療法看護認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）がんの化学療法において、患者・医療者の安全を守ることができる。 2）がん化学療法の副作用対策とセルフケア支援がわかる。 3）薬剤の特徴を踏まえ、がん患者の心身に及ぼす影響についてアセスメントできる。 4）看護に必要な薬剤情報を知り、がん看護に活かすことができる。
	がん看護研修（中級編） 3 手術看護	9月 講義・演習		手術看護認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）手術療法を受ける患者と家族への看護が理解できる。 ・がん手術療法が患者の心身に及ぼす影響についてアセスメントできる。 ・がん手術療法に伴う合併症の予防と術後回復を促進できる援助が理解できる。
	がん看護研修（中級編） 4 がん放射線療法看護	10月 講義・演習		放射線専従看護師等	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）放射線療法を受ける患者と家族への看護が理解できる。 ・放射線の仕組みと標準照射方法がわかる。 ・放射線治療の流れと看護がわかる。 ・放射線治療に伴う有害事象と看護がわかる。
	がん看護研修（中級編） 5－① 緩和ケア	11月 講義・演習		緩和ケア認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）がんによる痛みを理解でき、痛みのアセスメントができる。 2）がんの痛み治療と疼痛緩和ケアを理解し、看護に生かすことが出来る 3）全人的苦痛の理解を深めることができる。
	がん看護研修（中級編） 5－② 緩和ケア	12月 講義・演習		緩和ケア認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）がん患者の緩和ケアの特徴が理解できる。 2）がん患者の苦痛症状（呼吸症状・消化器症状・全身倦怠感・精神症状）のメカニズムとケアについて理解できる。
	がん看護研修（中級編） 6 摂食・嚥下障害看護	1月 講義・演習		摂食・嚥下障害看護認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めるための知識を習得できる。 1）嚥下のメカニズムと嚥下障害へのケアが理解できる。 2）がん治療における口腔ケアの必要性とケア方法が理解できる。
	がん看護研修（中級編） 7 リハビリテーション	2月 講義・演習		専門・認定看護師	1　がん看護における実践能力を高めることができる。 1）がんのリハビリテーションを理解できる。 2）各病期における、がんのリハビリテーションの特徴を理解できる。 3）がんのリハビリテーションにおける、看護師の役割を理解できる。
	がん看護研修（上級編） 1	10月 講義・演習	原則ラダーⅡ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	専門・認定看護師	がん看護における実践能力を高めることができる。
	がん看護研修（上級編） 2	11月 講義・演習		専門・認定看護師	がん看護における実践能力を高めることができる。
	がん看護研修（上級編） 3	1月 講義・演習		専門・認定看護師	がん看護における実践能力を高めることができる。
選択研修	重症度、医療・看護必要度	6月 講義	初めて重症度、医療・看護必要度を評価する者	看護部看護診断・記録委員会	1　重症度、医療・看護必要度について理解し、評価方法を学ぶ。
	チューターフォローアップ研修	7月 講義、演習	今年度初めてチューターを担っている者	教育委員	1　チューターとして自己を振り返り課題を明らかにする。 2　病棟間の情報を共有する。
	既卒・新採用者フォローアップ研修	7月 講義、演習	新採用者・中途採用者	教育委員	1　各自の現在の状況と問題点を把握し、今後の課題が明確にできる。 2　ストレス解決方法を学ぶ。
	2年目フォローアップ	10月 講義・演習	2年目看護師	教育委員	1　自分の経験や考えを同期に語ることができる 2　頑張っている自分に気づき、自分を思いやり、労うことができる 3　今後の目標を言語化し、語ることができる
	災害看護	9月 講義・演習	全看護師	看護部災害対策委員会	1　災害時のリーダーの役割が分かる。 2　各看護単位での災害時対応に活用できる。
	感染管理	10月 講義・演習	原則ラダーⅢ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	感染管理認定看護師	1　多剤耐性菌検出と危険性について理解できる 2　院内で問題となる主な耐性菌と対策について理解できる 3　多剤耐性菌検出時の感染対策について理解できる 4　アウトブレイク対応について理解できる
	チューター研修	1月	次年度初めてチューターを担うもの	新人教育担当部長・副部長	1　チューターの目的・役割が理解できる。
トピック 研修	重症度、医療・看護必要度	（e）通年配信 事後課題 （テスト・一致度評価）	全看護師	教育委員	1　重症度・医療・看護必要度評価が確実に実施できる。
	高齢者看護	（e）通年配信	全看護師	e-ラーニング	1　看護において課題となっている最新の情報や知識を学ぶ。
看護研究	看護研究の基礎研修	6月 10月 講義・演習 12月提出	原則ラダーⅠ認定者又は、同等の能力を有すると認めた者	看護研究委員	1　看護研究に必要な基本的知識を学ぶ。 2　看護研究に必要な文献検索ができる。 3　看護研究に必要な論理的文章作成ができる。 4　看護研究計画書の作成方法がわかる。
	看護研究の応用研修	1月～3月 講義・演習	原則レベルⅢ習熟中、又は同等の能力を有すると認めた者	院外講師	1　看護研究に必要なデータ収集方法や分析方法を学ぶ。 2　看護研究に活用できる。
	倫理的配慮の基本	（e）通年配信	全看護師	e-ラーニング	1　研究における倫理原則がわかる 2　倫理的配慮について対策を講じられる 3　研究発表で必要な倫理的手続きがわかる
看護研究報告会		2月	全看護師	院外講師 看護研究委員	1　当該年度に取り組んだ研究の成果を発表できる。 2　発表会に参加して研究の成果について学習できる。
院外研修報告会		3月	全看護師	教育委員	1　院外研修における学びや新しい情報を、看護職員全体への発表を通して共有し日々の看護実践に役立てる。
専門・認定看護師活動報告会		3月	全看護師	専門・認定看護師	1　活動状況を看護職員全体に報告することにより専門・認定看護師の活動を周知し、活動の活性化を図る。
看護管理研修		適宜	看護部長、副部長、看護師長、副師長	院外講師または、看護部長・副部長等	1　看護管理者としての能力を高める。
中途採用・復帰者研修		適宜	中途採用・復帰者	教育委員	1　看護業務に必要な基礎的知識を学び、技術を習得する。 2　中途採用・復帰看護師が、早期に職場に適応できるように支援する。